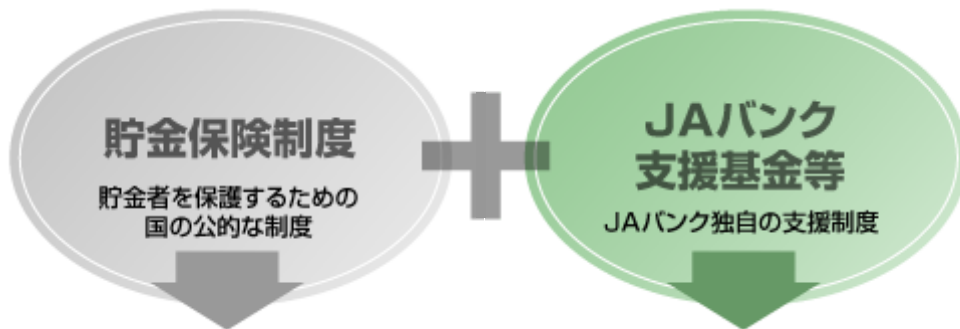


■ J Aバンク・セーフティーネット

より安心な金融機関として信頼を得るために、JAバンクは「JAバンク・セーフティーネット」を構築しています。まず、公的制度である「貯金保険制度」。そして、「JAバンクシステム」のもとJAバンク全体で経営健全性を確保するための支援制度である「JAバンク支援基金」。このしくみによって、組合員をはじめとする利用者の皆さまに、より一層の「安心」をお届けします。

JAバンク・セーフティーネットのしくみ



「貯金保険制度」は、貯金者保護のための国の公的な制度であり、JA・信連・農林中金などが加入しています。この制度は政府・日銀・農林中金・信連などの出資により設立されており、JAなどから収納された保険料を原資に、万一JAが経営破綻して貯金の払戻しができなくなった場合などに貯金を一定の範囲で保護します。

JAバンクの健全性維持を支援するため、JAバンク独自の取組みを行っています。全国のJAバンクの拠出により設置された「JAバンク支援基金」等を活用し、個々のJAによる経営健全性維持のため取組みに必要な支援（資本注入など）を行います。また、万一緊急の事態に陥ったJAへの貸付や経営が困難となったJAへの資金援助なども国の制度である貯金保険制度と連携して行います。